

女性の就労・スキルアップ促進プロジェクト【神戸市】

| | |
|------|---------|
| 総事業費 | 7,457千円 |
| 交付金額 | 3,650千円 |

地域の実情と課題

- 神戸市は、女性の就業率(令和2年国勢調査)が政令市の中で下から3番目と低い。
- 女性が多様な働き方を実現するためのスキルを向上させるソフト面の取り組みやハード整備が不足していた。

目的・目標

- 託児付きサテライトオフィスの運営、働く女性向けの各種セミナーの実施を通じて、女性が活躍できるまちの実現を目指す。
- <数値目標>サテライトオフィス利用者数
利用者数 2,000人→令和5年度実績:4,362人

事業の特徴

- 女性の多様な働き方を支援するため、子どもと一緒に利用できる託児付きサテライトオフィスを開設し、就職活動向けに、パソコンの無料貸出サービスを実施。
- 女性の就労・再就職につながる各種セミナーやキャリアカウンセリングを実施し、女性の就労を支援

連携団体

神戸商工会議所や経済団体、兵庫県経営者協会、兵庫県、マザーズハローワーク

事業の効果

- 託児付きサテライトオフィスにおいて、仕事と子育ての両立支援や就業継続、スキルアップを促進する場として効果的に運営することができた。
- 企業や役職を超えた、働く女性のネットワーク形成を推進することができた。

今後の課題

- サテライトオフィスの利用者増に向けた広報・周知を進めるとともに、利用者ニーズを把握しながら、さらなる女性の就労支援に向け、同様の施設の増設も含めた施策を展開していく

①託児付きサテライトオフィスの運営

男女共同参画センター1階に、託児つきサテライトオフィス（利用料無料）を開設し、育休復帰に向けた準備や、スキルアップ、リモートワーク、再就職に向けた勉強や準備ができる場として利用してもらうほか、女性同士の情報交換・交流の場を創出した。



②コミュニティマネジャーの配置(週3日5時間程度)

サテライトオフィス内に、コミュニティマネージャーを配置し、女性の就労・再就職、スキルアップに向けた情報交換、助言を行うほか、利用者同士のコミュニティを形成し、女性の就労促進を支援するなど、サテライトオフィスの活性化に取り組んだ。



③働く女性のネットワーク形成

市内企業で働く女性やコワーキングの利用者を対象に女性ロールモデル講演会や交流会を実施し、女性同士の情報交換・交流の場を創出した。こうした取り組みにより、企業や業種の枠を超えた交流を通じて、働く女性のネットワーク作りを支援した。(交流会のべ57名参加)